

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2012/08/31

Vol.25

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

平成 24 年 第 3 回 / 9 月 議会 印西市議会定例会が始まります。

今回の定例会は 9 月 3 日 (火曜日) から 10 月 3 日 (水曜日) まで行われる予定です。

「ぐんじとしのり」は、9 月 10 日 (火曜日) 午後 2 時 30 分頃から (時間不確定)、30 分間の個人質問に立ちます。(執行部の回答時間は含みませんので、正確な時間は当日の進行しだいです。) 以下に議会事務局を通じて執行部に提出した今回の質問内容を記載させていただきます。

傍聴を希望される方は、印西市役所 5 階にて諸手続きを行い、傍聴券の交付を受け、傍聴を行うこととなります。尚、定員は 36 名です。よろしくお願い致します。(また、インターネット議会中継を本年 2 月定例議会から行っています。詳細は、以下をご覧ください。録画中継は本会議が行われた後、概ね一週間以内に配信されます。)

..... <http://www.city.inzai.chiba.jp/www/contents/1195094404828/index.html>

(印西市役所の HP より、印西市議会⇒市議会からのお知らせで同画面になります。)

ぐんじとしのり 第 2 回 (5 月) 定例議会 個人一般質問内容

1. 印西クリーンセンター移転問題の今後について

7 月 8 日 (日) に実施された印西市長選挙で当選した板倉市長は「クリーンセンターの白紙撤回」を最大の公約として市民に提示して選挙戦を戦い、勝利しましたが、今後どのように「移転問題」に取り組んでいくつもりか。

- (1) 印西市長として「白紙撤回」をどのような手順をとり、どのように市民に提示していくのか。
- (2) 今後について、「ごみ減量計画」を見直していくとの考えが提示されているが、具体的にいつまでにどのような形で「ごみ減量計画」を市民に提示していくのか。
- (3) 第二回定例会で市議会としては「広く地域住民の意向を踏まえた次期廃棄物処理計画の検討を強く求める請願書」を採択したが、印西市政としてはこの請願項目の内容をどのように捉え、今後の検討につなげていくのか。

2. 「印西総合病院」の開院と印西市の今後について

印西総合病院は、本年 12 月の開院に向かって、工事が順調に進んでいると聞く。

- (1) 二次救急医療体制がない印西市は、印西総合病院に「二次救急医療機関」としての協力を求めていくと考えるが当然だが、市は二次救急医療体制の充実にどのような認識をもっているのか。
- (2) 他自治体においては当該自治体内の病院に対して、補助金による施設補助を行っているが印西市は「印西総合病院」に対してどのように考えているのか。

3. 印西市における放射線 / 放射能対応について

印西市長選挙に先立ち、市民団体より印西市の放射能 (放射線) 対策をどのように行っていくか。公開質問状が出され、当時の板倉候補もその質問に対して、回答をされている。しかし、その回答内容は具体性に乏しく実現が可能か、また、山崎市政と比較して、放射線 / 放射能対応にどのように取り組むか、今回の議会で検証を行いたい。

(1) 除染実施計画について

(ア) 市内小中 29 校の除染作業については、今回の夏休みに実施された (一部未実施) が、現在の除染作業では子供たちの安心・安全のために十分な計画になっていると思われる。今後、「子どもを放射能から守る」という観点から、必要な除染はどのように行っていくのか。

(イ) 通学路の除染について、「市の責任で実施すべきである」と板倉市長は選挙前に市民団体から

の質問について回答しているが、いつから行うのか。

(ウ) 私有地の除染について、市民が負担する除染費用は市がまず負担し、東電に費用の償還を求めていくという考えは間違いないか。

(2) 健康診断、健康調査について

市民団体からの質問について、「希望者に対して、健康調査は実施すべき。放射能の不安を感じている市民がいる以上、その不安の除去に協力すべき」と回答しているが、具体的にどのような検査を考え、いつから行うのか

(3) 学校等における対応について

(ア) 子供たちの活動等に関する市内共通の「放射能対策のガイドライン」が策定・公表されていないために実態として施設（学校等）ごとに対応が異なる状況になっています。このガイドラインの策定・公表の必要性等について必要だとの認識を示した板倉市長は具体的にいつまでに「放射能対策のガイドライン」を策定公表するのか。

(イ) 各施設に配布された線量計による測定結果（積算線量計では無く、空間線量計の測定結果）は現状公表されていません。細かく測定を行い、除染作業に反映させる必要があると思いますが、細かい測定や公表の必要性等について、「必要だ」と回答した板倉市政はどのように取り組むか。

(ウ) 学校教育現場での自然観察、体験活動等について、被曝量のリスク管理の観点から、土壌、泥等の放射性セシウムやストロンチウム等含有量の調査及び収穫物の検査の必要性を認めているが、具体的にいつ行うか。

(エ) ホワイトスクールや修学旅行先に関して、空間線量だけでは無く、そこで子供たちが口にする食事等にも配慮する必要があると思います。一部の学校において行先を変更していますが、教育委員会はどのようにリーダーシップをとっていくのか。

(オ) 昨年度、一昨年度と比較して、学校保健室にくる子ども達の数は変動していないか。また、現在、保健室に来る子ども達の来室理由はどのようなもので、一昨年前と比較して大きく変わることはないか。

(4) 山崎市政下で実現されなかった、「放射線総合対策」の策定や「放射能汚染対策協議会」の実施についてはどのように考えるか。

4. 印西市における子育て支援施策について（*一部抜粋）

- ① 待機児童対策としてどのような対策をとるのか。待機児童解消を謳うが、いつごろまでに実現可能か。 ② 「待機児童対策」として、「グループ型小規模保育（家庭的保育事業）」を実施予定だが、現状と今後を問う。
- ③ 保育園への入園選定方法は適正か ④ 保育園への送迎バスについて、現状と今後を問う。
- (2) 幼稚園への入園手続きは適正か。また、関連して私立幼稚園との連携をどのように考えるか。
- (3) 中央駅前地域交流館子育てルームの運営に関して、利用者から常勤職員に対して多数不満が寄せられているが、印西市として問題をどのようにとらえ、対応するのか。

5. ムクドリ対策と環境保全について

千葉ニュータウン中央駅北側および印西牧の原駅南側の樹木に多数のムクドリがいて、庁内関係各部署に連絡をし、対処をおこなっていただいているところです。

- (1) 発生の原因は市としてどのように考えているか。
(2) 一時的な対処はどのように行ったか。
(3) 抜本的な解決策として、市がなすべきことは何か。

6. 印西市の商業施策と牧の原駅圏の将来について（*略）

* 市政の最新状況はツイッター (@toshigu) や私が記載するブログ（ほぼ毎日更新）で発信しています。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。よろしくお願ひします。

ぐんじとしのり